

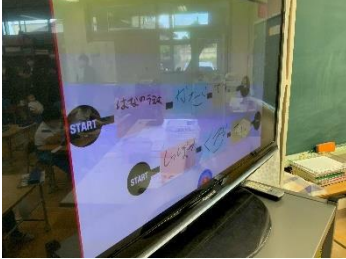



＜令和3年度 ICT活用促進プロジェクト実践推進校 鬼石北小＞

学年・教科：1年・国語 単元名：「しらせたいな、見せたいな」

ねらい：ことばのカードを作り、並べ替える活動を通して、語と語の続き方に注意しながら、一文の意味が明確な文をつることができる。

教師の発問、児童の反応 ◎学びのつながり ★ICTの活用	学習の様子
<p>1 前時の学習を振り返るとともに、本時の学習課題を確認する。（3分） これまで ◎★見つけたことをメモしたオクリンクのマイボード（青いカード）を振り返る。 ・教師の不十分な文例を提示し、発見を文にするにはどうしたらよいか問いかけ、本時のめあてを明確にする。 ・伝える相手をもう一度確認し、馬のことを伝えるために詳しくわかりやすい文をつくる必要があることを押さえる。</p> <p>ここでは ＜めあて＞ カードのことばを文にへんしんさせよう。</p> <p>2 「まるい」（青いカードの例）の前に必要な言葉を考える。【全体】（5分） ・馬の目の写真メモを例に挙げ、「まるい」の前に必要な言葉を考えさせる。</p> <p>3 青いカード（自分で見つけたこと）に付け足す言葉を考え、赤いカード（主語）と黄色いカード（文末）をつなげる。【個人】（15分） ★カードを色分けして並べ替えることで、語と語の続き方を意識して文づくりができるようにする。 ★わかりやすい主語を書いている児童や「です。」以外の丁寧語を使っている児童がいれば、画面共有で全体に共有し、ほかの児童が考える手立てになるようにする。 ・「うまは」などの曖昧な主語を書いている児童には、「馬の何が〇〇なのかな。」と問いかけ、より詳しい主語を考えられるようにする。</p> <p>4 作った文を交流する。【全体】（5分） T：みんなが作った文を画面共有してみましょう。 S：めは、まるいです。 S：めは、くろいです。</p> <p>5 主語が同じ文を一つにまとめたり、文をさらに詳しくしたりする方法を考える。【全体】（5分） T：赤いカードが同じ文を、1つにまとめられないかな？ S：算数の「合体」を使えばいいんだ。 S：「めは、まるくて、くろいです。」にすればいい。</p> <p>6 タブレット上で自分が作った文をまとめたり、さらに詳しくしたりする。できた文を短冊カードに書き、書いた文を黒板に貼る。【個人】（5分） ★カードを自由に動かしながら、語と語の続き方を意識して文をつくれるようにする。</p> <p>7 作った文を交流する。【全体】（4分） T：みなさんの作った文を、見ていきましょう。 S：けは、ちゃいろくて、さらさらです。</p> <p>＜まとめ＞（例） たてがみは、ちゃいろでもこもこです。</p> <p>8 本時の振り返りと次時の課題の確認をする。（3分） ★振り返りをオクリンクを使って全体で共有する。</p> <p>＜振り返り＞（視点：できたこと・発表したいこと） T：今日、わかりやすい文がたくさん書けた人は◎、書けた人は○、もう少しの人は△を、オクリンクで送ります。また、発表したいことがある人は、カードを緑色にしてください。</p>	    
<p>このあとは ◎つくった文を並べ替え、文章にしていくことを確認する。</p>	